

2019年3月期 第2四半期(累計)		
連結経営成績		対前年比
売上高	9,561百万	△3.7%
営業利益	101百万	—
経常利益	149百万	118.8%
当期純利益	205百万	—

経営概況

☞世界経済は全般的に回復傾向が続きながらも、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題に加えイタリアの財政問題など、不安定な状態が拡大し、国内経済では、総じて安定した円安傾向の継続から、企業収益は堅調に推移するものの、自然災害の影響などから一時的に景気回復に足踏み感が見られました。

☞当社グループは、業務プロセス改革、仕組み改革など将来にわたる収益力向上に向けた経営体質強化に継続的に取り組む中、その効果が表れはじめ、大判インクジェットプリンタにおいては成長分野と位置付けるインダストリアル市場を対象とした新製品の開発と投入を推進してまいりました。その結果、世界的な競争激化の影響を受け減収となりましたが、利益面では原価率の改善、物流コストや製品補修費などの費用削減に加え、投資有価証券売却益の特別利益計上等により、対前年・予想ともに増益となりました。

(以上により11月9日に第2四半期累計期間の業績修正(上方修正)を行ないました)

(百万円未満切捨て)

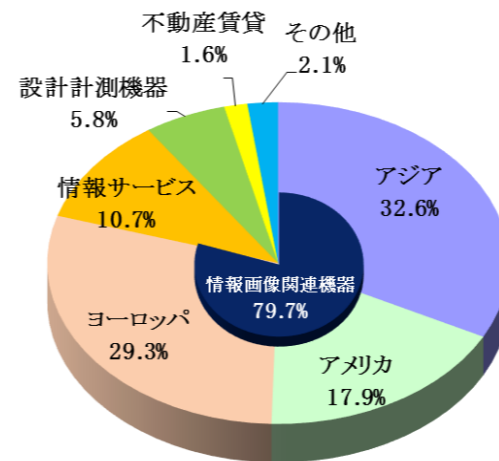
期中平均為替レート比較		
	実績	前年差額
US\$	110.26円	△0.79円
EUR	129.78円	+3.47円

経営成績		
売上高	△362百万	☞主に、販売価格下落の影響等により対前年減収となりました。
売上総利益	△45百万	3,155百万 (原価率: 67.0%⇒ △0.7%) ☞前年より取り組む構造改革等による原価率改善効果によります。
販売費・一般管理費	△193百万	3,054百万 ☞主に、販売費△1億79百万に加え、一般管理費△13百万減少によります。(労務費△21百万、経費△1億72百万)
営業利益	+148百万	☞売上高減少による売上総利益の減少はありましたが、販管費の削減に努めた結果、対前年増益となりました。
経常利益	+81百万	☞収入での為替要因の減少はありましたが収支は47百万の増加となり、対前年増益となりました。
当期純利益	+187百万	☞営業・経常利益の増加要因に加え、特別利益にて投資有価証券売却益1億16百万の計上等から対前年増益となりました。

セグメント情報	
アジア	☞販売価格下落の影響と3Dプリンタにおける市場の一服感等の影響を受けながらも、利益面では構造改革が奏功し改善。減収増益となりました。
アメリカ	☞主に販売価格下落の影響を受けました。
ヨーロッパ	
情報画像関連機器計	☞販売価格下落傾向の影響を受けながらも、前年より取り組んでいる収益構造改革の効果により利益面では改善。減収増益となりました。
情報サービス	☞売上は微減ながら原価率上昇により減収減益となりました。
設計計測機器	☞対前年減収ながら、販管費削減により増益となりました。
不動産賃貸	☞物件減少(売却)に伴い、減収減益となりました。
その他	☞消費低迷による影響に加え、仕入原価上昇により減収減益となりました。

財政状態 (2018年3月末対比)		
総資産	29,678百万 △219百万	☞主に流動資産における減少要因によります。
流動資産	16,717百万 △1,261百万	☞たな卸資産で1億03百万増加し、売掛債権4億07百万、未収入金等その他の流動資産3億02百万他、減少致しました。なお、現預金は6億83百万減少。
固定資産	12,961百万 +1,041百万	☞有形固定資産2億27百万の減少と無形固定資産86百万、投資その他の資産11億82百万(内、投資有価証券11億48百万円)の増加によります。
負債合計	6,583百万 △295百万	☞主に流動負債2億80百万の減少要因によります。その主な増減は、買掛債務3億61百万減少、預り金、その他にて1億22百万等増加致しました。
純資産	23,094百万 +75百万	☞主に配当支払いによる減少と利益計上等により利益剰余金が45百万増加し、その他評価換算差額合計額62百万の増加他の要因によります。

【売上高構成比】



事業・地域区分	売上高		セグメント利益	
	金額	前年比	金額	前年増減
アジア	3,113百万	△1.8%	80百万	+351百万
アメリカ	1,709百万	△2.0%	41百万	△15百万
ヨーロッパ	2,800百万	△6.7%	56百万	△79百万
情報画像関連機器計	7,623百万	△3.7%	178百万	+256百万
情報サービス	1,027百万	△1.7%	44百万	△22百万
設計計測機器	549百万	△4.6%	86百万	+81百万
不動産賃貸	155百万	△5.4%	103百万	△18百万
その他	204百万	△7.9%	△23百万	△16百万
調整			△286百万	△132百万
連結合計	9,561百万	△3.7%	101百万	+148百万

キャッシュ・フローの状況 (2018年4月～9月)		
営業活動	+633百万	☞主に税金等調整前四半期純利益2億64百万に加え、売上債権4億58百万と減価償却費等1億96百万他の資金増加要因と法人税等支払2億45百万、仕入債務3億98百万他の資金減少要因によります。
投資活動	△1,186百万	☞主に有形固定資産増減1億17百万の資金増加要因と無形固定資産増減1億49百万、投資有価証券増減11億60百万等の資金減少要因によります。
財務活動	△213百万	☞主に株式配当金の支払い等によります。
現金同等物の期末残高	8,758百万	☞上記要因に加え、換算差額82百万により2018年3月末対比6億83百万の減少となりました。 (参考:2017年9月対比 △7億34百万円減少)

業績予想 および 配当予定

業績予想 (百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期 (2018年5月公表)	20,500	240	260	20
先行き不透明感の強い経営環境から不安定な要素が多く、現時点では前回公表値を据え置いております。今後、業績動向等により修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。				
配当予定(円)	第2四半期末	期末	年間計	前期増減
2019年3月期	0.00	35.00	35.00	±0.00
当初予定に変更はありません。				